

ウィズ通信

3月8日は、『国際女性デー』です。

国際女性デーとは、

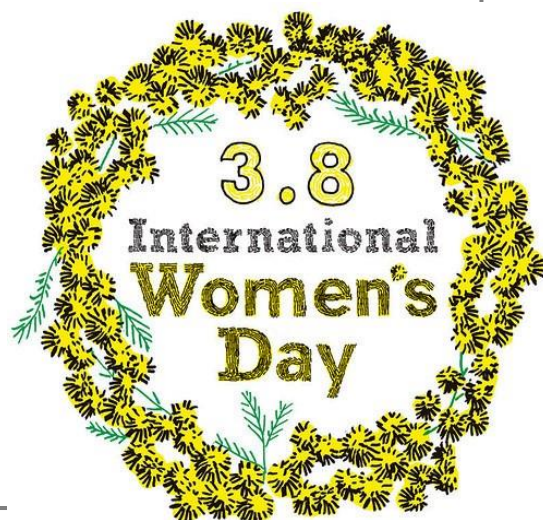
3月8日は、1975年、今から46年前に女性の政治的、経済的分野へのさらなる参加を目的に国連が制定した『国際女性デー (International Women's Day)』です。

1904年3月8日にアメリカ・ニューヨークで婦人参政権を求めたデモをきっかけに、1920年コペンハーゲンで行われた国際社会主義会議で「女性の政治的自由と平等のために戦う」記念日と定められ、世界中に広がっていきました。

イタリアでは国際女性デーを「フェスタ・デラ・ドンナ (FESTA DELLA DONNA)」と呼び、女性に感謝を込めて母親や姉妹、妻、友人、会社の同僚などに、愛や幸福の象徴でもあるミモザの花を贈る日となっていました。そして、これが世界に広がり「国際女性デー」＝「ミモザの日」とも呼ばれるようになりました。

ウィズせつつでは、「出会う、気づく、つながる、行動する」をテーマに、誰もが個人として尊重され、互いに喜びと責任を分かち合い対等なパートナーシップを築くことを目的に活動している男女共同参画推進団体とウィズせつつが、一年間取り組んできたことを発表する機会として、また、3月8日の「国際女性デー」を記念する意味も込めて、毎年3月にウィズせつつフェスタを開催しています。

今年度は、ウィズせつつと団体が、コロナ禍だからこそできる形でフェスタを開催したいという思いをひとつに、コロナ感染防止のため、約2週間に渡り『ウィズせつつフェスタ weeks 2021』として、団体の活動発表を中心にさまざまな企画を分散して開催します。



コロナ禍での地域活動



摂津市
マスコット
キャラクター
セッピー

新型コロナウイルスの感染拡大対策に伴う外出制限や休業などは社会にさまざまな影響を及ぼしています。ウィズせつつも、セミナーの参加人数の制限や開催前の検温、手指消毒など感

染防止に向けた取り組みをしながら事業を進めています。これまで普通にできていた生活がままならない中で、ウィズせつつと共に歩いて来た男女共同参画推進団体の地域活動も今までのようにできない状況であることが見えてきました。そこで、11月に、コロナ禍の中、どのような活動をされているのか状況をお聞きしました。

ウィズせつつでは、団体活動の支援の一環として男女共同参画市民企画協働事業『チャレンジ企画』『ジャンプ企画』『ふらっと企画』などの事業を協働開催しています。地域での活動拠点であるウィズせつつでの支援事業において、コロナ禍、団体が手探りをしながら事業を進める中での悩みや不安、そして、コロナ禍だからこそできる活動の方策や工夫や試みなどを次ページでお伝えします。



コロナ禍での 団体活動

絵本の読み聞かせを行っています。参加人数が多くなりたないようにと、あえて事業の告知をしなかったため、参加者が集まらない状況です。今後の活動をどうするか悩んでいます。（絵本読み聞かせ隊おきなかな）

会議は密をさけるため全員入室せずに行っています。これまで写真展を一度も開催することが出来ずにいましたが、ウィズせつつフェスタで展示ができるのがうれしいです。（遊フォークラブ）

こんな時だからこそ講演会などの企画を実施することの大切さを実感しています。コロナ禍でDVや児童虐待も増えていると聞きます。それをテーマに勉強会を考えています。工夫しながら様々なことにチャレンジしていきたいです。（新日本婦人の会摂津支部）

手洗いなど、感染に気をつけ、人と人との間隔をあけて絵を描いてます。（自由を楽しむバステル）

メンバーの高齢化とコロナ禍により、存続の危機に瀕しています。新たなメンバーを募集しています。3月まではなんとか頑張って続けたいと思っています。（男の料理金曜会/土曜会）

持病を持つ高齢会員が多いため活動は休止状態です。どうしても必要な連絡は一斉メールに対応しています。毎年、お正月の花を生けるのですが、今回は花材を手渡しし、各々が自宅で作ることにしました。（おしゃべりと花の会）

イベントあつての団体なのに、手づくりイベントがなくなってしまい活動が停滞しています。毎年開催している「三宅の杜フェスタ」も中止となり残念です。10月から、少しずつ各所でイベントが開催されるようになったので作品を作り始めています。（go=en）

高齢者のつどい場事業を開催しています。それまでは30〜40人の参加がありましたが、人数制限をしなければならず、これまで参加している人々を断るわけにもいかず、今は休止状態です。（みんなのせつつ村）

発声練習で大きな声が出せず、いつもどおりの朗読練習ができな状況でしたが、11月に朗読発表会を開催しました。（朗読グループ・グッドムーン）

密にならないように参加人数を半分に、時間を短縮し、2回に分けて高齢者のつどい場事業を開催しています。会議も同様に2部屋で、マスク消毒、人数制限などの感染対策をしながら行っています。コロナ禍でも十分活動はできていると思います。（NPO法人摂津市サポートビューロー）

ウィズせつつ・セミナー報告 家族の中の私ってなに？～コロナ禍で気づいたこと～

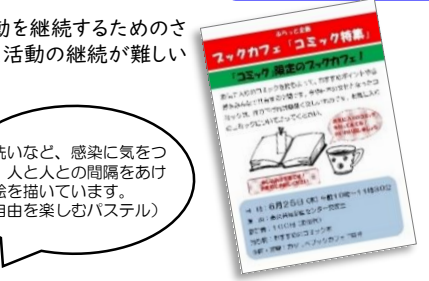
コロナ禍での長引く自粛生活で家族が家にいることにより、女性は家事や育児、介護などの負担がさらに増えました。フェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんをお招きし、妻だから、母だから、娘だからという役割に縛られず、お互いに心地よい家族関係について考えることで、自分自身が納得できる自分らしい生き方のヒントを得る機会となりました。



**開催日時：令和2年10月22日～11月5日
いずれも木曜日（全3回）**
講師：加藤伊都子
（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）

- 参加者の感想
- ・コロナ禍で生活事情が変わっている今、ちょうど良いテーマだった。納得することが多かった。
 - ・今まではそれが当たり前になっていて特に意識していなかった女性の負担が、コロナ禍で他者を優先しなければならぬからだと気づき、そこから家族の関係を考えることにより、新たな方向性が示されたことがよかった。
 - ・女性のおかれていた大変さがよくわかった。
 - ・自分の考えが前向きになれそうな自信をもらえた。

ふらっと企画 コミック限定のブックカフェ



開催日時：6月25日（木）
カタリバカフェとは、ものの、飲食提供はせず、各自、飲み物持参でブックカフェを行っています。6月に参加者同士持ち寄ったコミックのオススメポイントや感想を語り合いながら、コミックの中に表現されるさまざまな世界観を読みとく会を開催しました。（カタリバブックカフェ千里丘）

ジャンプ企画 ぽてとひろば～親子でほっこり

開催日：毎月第3木曜日（5、6月は中止）
親子が自由におしゃべりや情報交換を楽しむ親子広場を開催しています。通常開放している地域の「ちいさなおうち」は、感染防止のため人数制限をし、予約制で受け付けています。また、使用前後のおもちゃの清掃や利用者の検温、スタッフは食事中、話をしないなど感染対策を徹底しています。（NPO法人キッズぽてと）



ジャンプ企画 つどい場「輪」のスマイル広場



開催日：毎月第3土曜日（5、6月は中止）
摂津みんなで体操、みんなの認知症予防ゲームなどをスマイル広場で実施しています。参加者が定員を超えたらスタッフが外出などの感染対策を行っています。コロナの影響で外出ができず足腰が弱り、歩いて来れないという方がいます。10月からは通常通りに開催できるように、久しぶりに会えてうれしいという声も聞かれました。（つどい場「輪」）

ジャンプ企画 発達が気になる子どものための親子広場

開催日：7月13日（月） 10月6日（火）

障がいのある子どもや発達が気になる子どもの親同士が安心できる親子広場を開催しました。オンラインでのセミナーやグループラインでの交流、チャット相談もしています。地域以外の方からの申し込みもあり、オンライン事業はコロナ禍だからこそできた試みだと思います。（子育て支援Pamoja）

ジャンプ企画 ほめたいね♡のクリニカルアート体験

開催日時：12月3日（木）
緊急事態宣言後、6月開催予定の企画は中止となりましたが、12月に「オイルパステルでクリスマスを描こう」を開催しました。感染者数が増えてきているので大丈夫かな？感染対策をしていれば良いのかな？と少し心配しながら開催でした。（ほめたいね♡）



チャレンジ企画「ストップDV」みんなでつくろうタペストリー！

開催日時：12月4日～令和3年1月15日 いずれも金曜日 全5回
これまでウィズせつつ主催企画として、ストップDVタペストリーの作成に関わってきましたが、はじめての自主企画としてチャレンジ企画に応募し、企画が実現しました。企画・運営を自分たちで担うのはとまどう事も多いですが、全5回のセミナーを毎回反省点を上げて、次に活かしながら進めています。セミナーでは参加者と一緒にコロナの厄除アミビエをつくりました。タペストリーの図案やパーツ作成などは、集まる回数を減らしSNSでやりとりしながらすすめています。各自パーツを持ち寄り最終的につなぎ合わせてストップDVタペストリーの完成を目指しています。（ハートtoハンドメイドの会）



**チャレンジ企画
脳がイキイキ 脳がヨロコブ
レクリエーションで心も体もハッピー！**

オレンジサークルは、高齢になっても楽しく参加できる催しを地域で広める活動をしている有志が集まり結成しました。さまざまな遊びやニュースポーツなど、健康長寿に役立ち、明日からの毎日がきっと楽しくなる健康プログラム『レクリエーション』を楽しむことで、心も体も元気になるます。いくつになっても元気で過ごせるよう心と体と脳がイキイキとするレクリエーションを一度体験してみませんか。

**開催日時：令和3年2月28日、3月14日
いずれも日曜日 全2回 開催予定**

ウィズせつつは、市民団体の「できたらいいな」の実現のために企画を募集し、さまざまな支援を行っています。

ふらっと企画：男女共同参画推進団体の日ごろの活動を市民のみなさんに気軽に体験してもらう企画です。

ジャンプ企画：男女共同参画推進団体が企画したセミナーやせつつをウィズせつつが応援して開催する企画です。

チャレンジ企画：市民団体が、男女共同参画の視点で考えた企画をプレゼンし審査の上、選ばれた企画をウィズせつつと協働で実施します。毎年、4月に企画を募集しています。



**申込
受付中**



ウィズせつつフェスタ weeks2021

出会う 気づく つながる 行動する

開催期間：3月6日(土)～3月18日(木)

開催場所：摂津市立コミュニティプラザ内



性別にとらわれることなく、一人ひとりの能力と個性が十分に活かされる男女共同参画社会の実現をめざして活動する男女共同参画推進団体が、一年間取り組んできたことを発表する場がウィズせつつフェスタです。今年度は、コロナの感染拡大防止のため約2週間にわたり「ウィズせつつフェスタ weeks2021」として分散して企画を開催します。

※スケジュールなどの詳細はチラシをご覧ください。(一部、事前申し込み制の企画があります)

ゴスペルシンガー 市岡裕子 講演会 & 推進団体活動発表

苦しい時こそ夢と希望と音楽を♪

ニューヨーク・ハーレムの黒人教会で本場のゴスペルに出会い、ゴスペルシンガーの道を歩んだ市岡さん。祈りと希望を歌うゴスペルに励まされ、様々な試練を乗り越えて来た。その生き方から「今、ここ」を大切に生きることを学びます。

講演に引き続き男女共同参画推進団体の発表もお楽しみに。

日時：3月6日(土) 開場：午後1時

●講演会：午後1時30分～3時

講師：市岡裕子（ゴスペルシンガー）

●活動発表：午後3時～3時45分

つどい場「輪」、朗読グループグッド・ムーン、中日梨園企画研究会

Gospel
singer



市岡さんは、吉本新喜劇元座長、故岡八朗氏の長女。

摂津市立男女共同参画センター
ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



「ウィズ通信」は年2回発行します。

編集・発行

摂津市立男女共同参画センターウィズせつつ

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112

FAX：06-4860-7113

URL：http://www.with-settsu.jp/

e-mail：danjyo@with-settsu.jp

2021年1月発行



ウィズせつつ 検索